

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス シュウエール		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 15日 ～ 令和7年 10月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 15日 ～ 令和7年 10月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちがお互いに話をし、共感しながら人間関係を構築して、コミュニケーション能力を身につける。	・言葉による会話を大切にして、他者と理解し合えるような言葉の獲得を目指しています。	・ボードゲームやカードゲームへの取り組みを子どもたちに促す。 ・おやつ作りを協力してできるような環境を整える。
2	・自主性を大切に学習の支援をする。	・小学校低学年については、学習をする習慣が身につくことを目指します。 ・学年が上がるにつれて、目標をもって、自主的に学習を進められるように促します。	・特に小学校低学年の子供には、個別的に職員がつき、学習の支援をする。 ・自主的に学習が進められるような環境を整える。
3	・公園や体育館で、集団で遊びやスポーツをすることを通して、協調性を養う。	・皆が楽しく、協力して遊びやスポーツができるように工夫をして活動をする。	・公園…追いかっこ、2組に分かれてサッカーの試合、2組に分かれてカラーボール野球、遊具、集団での縄跳び等をする。 ・体育館…卓球、バトミントン、ドッチボール、バレーボール等をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員が色々な分野の職業を経験しているので、価値観の違いから支援の方向性を決める時に、お互いに譲歩しながら意見をすり合わせて、落しどころをどこにするのかとめることが難しい。	・通われている子どもたちが、特性をもっているということを職員が常に意識することと、福祉という観点から子供たちを支援するという視点をゆるぎないものにすることが課題と考えております。	・職員同士が話し合うことを大切にして、子どもたちの特性を考慮して、問題点を考えて、よりよい支援の方向性をさぐっています。
2			
3			